

純正LED専用フォグランプユニット(L1Bタイプ)＜12V専用＞

この度は、純正LED専用フォグランプユニット(L1Bタイプ)をお買上げいただきまして誠にありがとうございます。
 正しく、安全にお使いいただくために、ご使用前に本「取扱い説明書」をよくお読みください。
 また、本製品をご利用になる期間中、この取扱い説明書は、紛失しないように大切に保管してください。
 ※LEDバルブの取扱いについては、LEDバルブに同梱の「説明書」をご参照ください。

△ ご注意

本製品は、下記品番の純正LEDフォグランプとの交換用灯具になります。
 ダイハツ、スバル品番 R側：81210-B5030/L側：81220-B5030
 三菱品番 R側：8321A822/L側：8321A821
 日産品番 R側：26150-8990E/L側：26155-8990E、
 ホンダ品番 R側：08U31-TKR-AM00-02/L側：08U31-TKR-AM00-01
 R側：08V31-TKR-BM00-02/L側：08V31-TKR-BM00-01
 上記、メーカー品番を確認の上、作業を行ってください。

※この取扱い説明書は、本製品をご利用になる期間中、紛失しないように大切に保管してください。

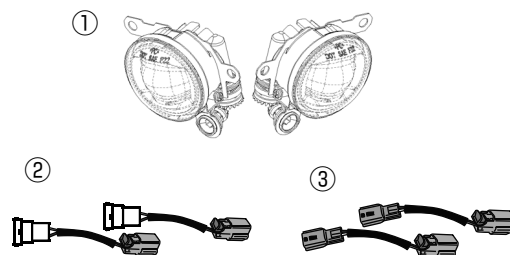
RGH-P906 専用フォグランプユニット 製品仕様/部品構成

○製品仕様

- ・フォグランプユニット
- バルブ形状：L1B
- 材質：樹脂レンズ
リフレクター

○部品構成

- | | |
|------------------|-----|
| ①フォグランプユニットL/R | 各1個 |
| ②ダイハツ、スバル変換ハーネス | 2本 |
| ③三菱、日産、ホンダ変換ハーネス | 2本 |



⚠ 安全に関するご注意 ※ご使用になる前に必ずお読みください。

- レンズ面に物をぶつけたり、無理な力を加えたりしないでください。レンズが破損し飛散した場合、ケガの原因となることがあります。
- 点灯中や点灯直後はランプやバルブが熱いので手や肌など触れないでください。ヤケドの原因となることがあります。作業は、ランプスイッチをOFFにし、ランプが冷えてから作業を行ってください。
- 点灯中の光を間近で長時間見つめないでください。目が痛くなったり、視力障害の原因となります。
- 火災の原因となりますので、紙や布などでランプ本体をおおったり、燃えやすいものや印引火する危険性の雰囲気(ガソリン可燃性スプレー、シンナー、ラッカー、粉じんなど)で使用しないでください。
- 分解、改造は行わないでください。火災、ケガ、故障の原因となります。
- 走行中に異常な振動や音等を感じたら、直ちに安全な場所へ停車し、よく点検を行ってください。
- 車両に下記の装備が装着されている車両は、純正バルブの装着を前提に設計されている為、本製品を装着すると正常に作動しなくなる恐れがあります。本製品を使用したことによる車両装置の誤作動や動作不良、それらにより発生した事故や損害については一切の責任を負いかねますので予めご了承願います。
 - ・衝突被害軽減ブレーキ ・クルーズコントロール ・車線逸脱防止支援センサー ・誤発進制御機能・クリアランスソナー
 - ・駐車支援システム ・超音波を使用した装置 ・AFS ・その他、カメラ、ミリ波レーダー、赤外線レーザー

⚠ 使用に関するご注意 ※ご使用になる前に必ずお読みください。

- 本製品は、自動車用フォグランプです。自動車以外の用途には使用しないでください。
- 本製品は、12V車専用です。12V車以外での使用はしないでください。
- 法規上、フォグランプは同時に3灯以上点灯することができません。
- 本製品の光源はLEDバルブを使用しております。補修交換の際は、弊社専用LEDバルブをご使用ください。
- フォグランプを点灯するとオーディオ等にノイズが入る場合がありますが、故障ではありません。
- 本製品は雨天走行や洗車などにより、レンズ内が一時的に曇ることがあります。また、ランプ内と外気の温度差により、空気中の湿度がレンズ内に結露することがありますが、これらは雨天時などに窓ガラスが曇るのと同様な現象で、機能上の問題はありません。
- バッテリー保護の為、エンジン停止後の長時間点灯はさけてください。
- 防水キャップは外さないでください。水の浸水による故障の原因となります。
- 塗装などに悪影響を与える原因となりますので、ランプを洗浄する場合は、水で薄めた中性洗剤を使用し水洗いしてください。ベンジンやシンナー系薬品は絶対に使用しないでください。
- 装着後は、必ず、光軸確認をお願い致します。

⚠ 取扱（取付）に関するご注意 ※ご使用になる前に必ずお読みください。

- 作業は平らな場所で、車両が動きださないように安全を確保してから行ってください。
 - エンジンルームが十分に冷えてから取付作業を行ってください。ヤケドの原因となります。
 - コネクターを外す際は、コードを引っ張らず、コネクター本体を持って外してください。
 - エンジン、ランプスイッチをOFFにしてから、エンジンルームが十分に冷えてから、作業を行ってください。
 - 本製品を取付けの際には、本取扱説明書、LEDバルブ説明書及び車両メーカー作成の作業マニュアル、電気配線図に従い、注意して作業を行ってください。バッテリーアースを取外す際は、車種により車両側に誤作動が起こる場合があります。詳しくは、車両メーカー作成の作業マニュアル又は、メーカーへ問い合わせをお願いいたします。
 - 装着の際、車両によってはバンパーの脱着が必要な場合があります。
- 【重要】** 運行補助装置または自動運転装置がバンパーに組み込まれている車両において、バンパーを脱着して取付作業をする場合は必ず電子制御装置設備の認証を受けた事業所に作業を依頼してください。バンパーを外すと当該装置が正常に作動しなくなる可能性があります。
- ランプ本体は、車両に取付けの際、右、左、上下方向があります。取付方向を間違わない様、取付けを行なってください。
 - 車両にランプ本体を固定する場合、車両の純正フォグランプを固定しているタッピングスクリューを使用して固定します。お取付けの際、タッピングスクリューの緩みが無い確認の上、増し締めしてください。しかし、強く締め付けると破損の原因となります。 ※参考 締め付けトルク T=3.0N・m(31kgf・cm) タッピングスクリューの締め付けがゆるいと光軸のブレ、脱落の原因となります。確実に固定してください。
 - 作業終了後は、ランプ本体が確実に固定されているか確認を行なってください。取付けが不完全な場合、ランプ本体の落下の原因となります。
 - LEDバルブの放熱の妨げになる為、緩衝剤等で覆わないでください。

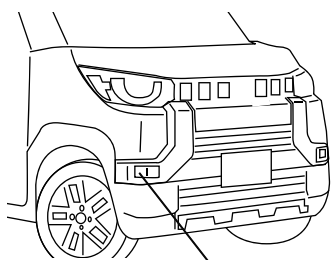
取付手順

フォグランプユニットの取付け手順

下記のイラストは、三菱デリカミニ(B3#A)をモデルに作成しております。

フェンダーライナーやフォグランプを脱着する際は、メーカー作業マニュアルを確認の上、安全に作業を行ってください。

※車両によりバンパー脱着が必要な場合があります。



純正LEDフォグランプ

1. タイヤハウスの①、②のクリップを外しフェンダーライナーをめくってください。(図1、図2)

フェンダーライナー

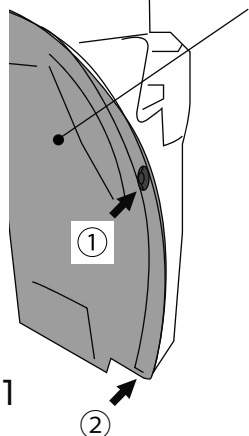


図1

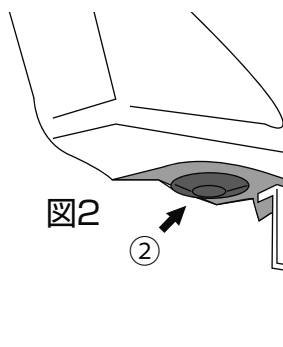
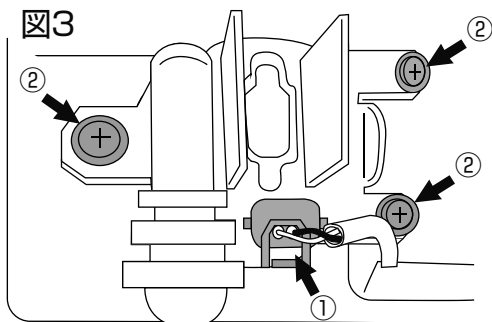


図2

2. ①車両側電源コネクタを外し、②スクリーを外し純正LEDフォグを外してください。(図3)

図3



3. フォグランプを取付ける前に、図4-2①スクリーを外し、②バルブ固定部品を取り外してください。純正LEDフォグランプと同じ方法で、ランプ本体を車両へ確実に取付けてください。
運転席側装着 (図4-1、図4-2)
フォグランプユニットとバンパー側の穴位置を合せ車両から取り外したスクリーを使い、固定してください。

※1 フォグランプから取り外した①スクリーと②バルブ固定部品は、LEDバルブ取付け後、フォグランプに取付けてください。

アドバイス

助手席側も同じ要領で作業を行ってください。

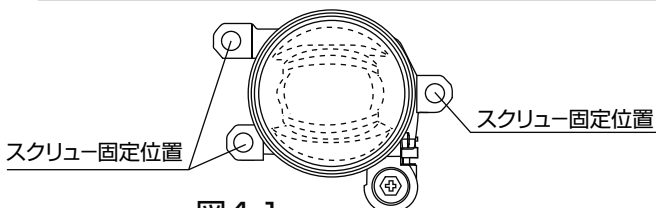


図4-1

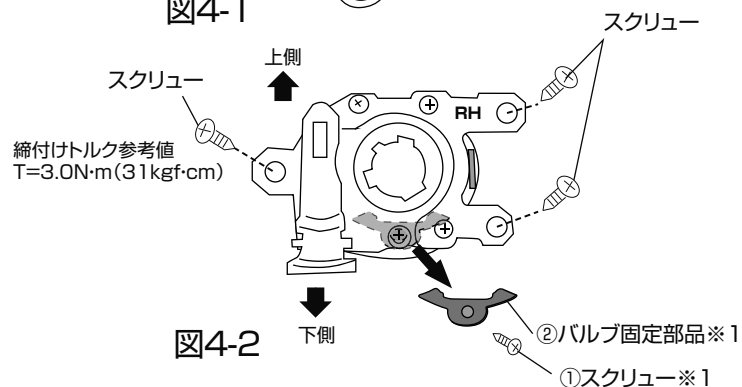


図4-2

注意

- ・フォグランプユニットの取付けの際、取付け方向を間違えない様、装着してください。
- ・フォグランプユニットを取付けの際、スクリーで固定する際、バンパー側は樹脂ですので、強く締め付けると破損の原因となります。
- ・LEDバルブの取外作業が困難な場合、車両にフォグランプユニットを取付ける前にLEDバルブをフォグランプユニットに装着してから、車両に取付けてください。

4. 取付けが終わりましたら、次は、LEDバルブの取付作業になります。
装着するLEDバルブの取付手順・取説を参考にして作業を実施してください。

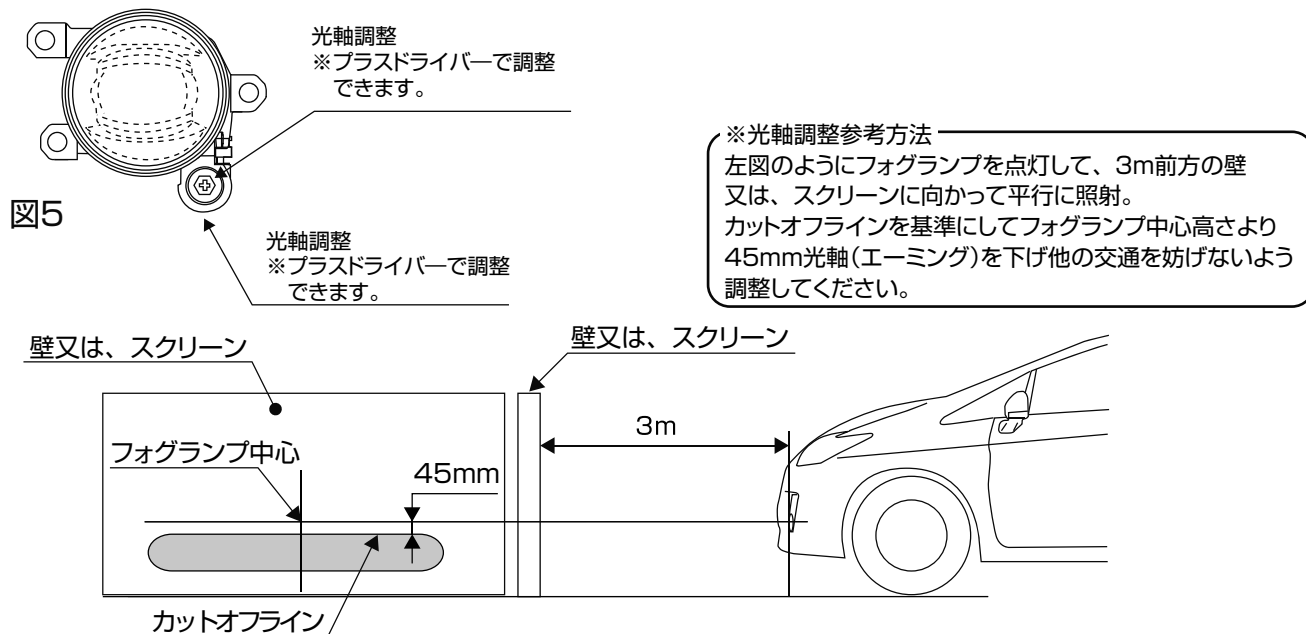
◎重要 車両によりバンパー脱着が必要な場合があります。
運行補助装置または自動運転装置、センサーがバンパーに組み込まれている車両において、バンパーを脱着して作業をする場合は必ず電子制御装置設備の認証を受けた事業所に作業を委託してください。

フォグランプ光軸調整について

フォグランプの光軸調整は車両メーカーマニュアルを確認の上、下図のように必ず行ってください。

1. 車両を平坦な場所に停車し、壁又は、スクリーンに向かって平行にフォグランプを点灯させてください。

光軸調整はフォグランプユニットの光軸調整機構にて調整してください。



2. 全ての作業が終了しましたら、バルブの取付状態とカプラー接続状態の確認後、フェンダーライナーを元の状態に戻し作業終了となります。

保証書

純正LED専用フォグランプユニット(L1Bタイプ)〈12V専用〉RGH-P906は、下記の規定に基づきご購入より3年間のご使用について保証いたします。但し、商用車への装着は、2年間保証になります。

予め、ご了承ください。

保証期間中に製品の性能に起因した不具合(浸水)が発生した場合は、規定内容をよくお読みの上純正LED専用フォグランプユニット(L1Bタイプ)の保証書に現品と領収書(レシート可)を必ず、添えてお買い上げいただいた販売店へご用命ください。

1.正常なご使用状態において、お買い上げの日より保証期間以内の通常の使用でフォグランプ内に水が入った場合、1回に限り無償にて代替品を保証いたします。なお、装着車両の対象は標準の自家用車が3年間保証、商用車は2年間保証となります。予め、ご了承ください。

(改造を施された車両でのご使用の場合は対象外とさせていただきます)

無償交換に伴い、発生する付帯費用(交通費、送料、脱着、装着工賃、その他の諸費用)及び不具合によって発生した直接、間接の損害等の全てにつきましては、保証対象外とさせていただきます。

2.保証につきましては、購入された製品と同一の代品での対応とさせていただきます。

3.代替品の保証期間中に不具合(浸水)が起きた場合は、保証の対象外となります。

4.フォグランプ内に水が入った場合以外での外観、リフレクターの変化、劣化につきましては、保証の対象外となります。

5.次の様な場合は、保証期間内であっても無効となりますのでご注意ください。

A.保証書のご提示が無い場合。

B.保証書の規定事項未記入、あるいは字句・印の改変がある場合。

C.保証書にお買い上げ店の捺印、お買い上げ月日の表記が無い場合、但し、ご購入時の領収書(レシート)での代用を認めます。※領収書(レシート)は保証書に貼り付けて保管してください。

D.異常電圧、指定外の使用条件などによる原因でフォグランプを損傷させた場合、又は、誤ったご使用による原因でのフォグランプを損傷させた場合。

E.火災、地震、水害、その他の天災や交通事故によりフォグランプを損傷、浸水、故障した場合。

F.接続している他の部品に起因して生じたフォグランプの不具合および故障。

G.お買い上げ後のお取り付け、移動時の落下による損傷。

9.保証書は再発行致しません。

7.保証書は日本国内においてのみ有効です。This is warranty is valid only in japan.

取扱い店へ

「保証書」ご記入の上、ご購入者様へお渡しください。

万一、未記入の場合には、保証が無効となりますので必ずご確認ください。

品名 / 品番		専用フォグランプユニット(L1Bタイプ)/RGH-906			
お客様	お名前	フリガナ			
	住所	〒 都道府県 市町村 TEL ()			
お買い上げ日	年 月 日		保証期間	お買い上げ日より3年 但し、商用車への装着は、2年間保証	
装着車	車種:グレード		型式 (年式)		
販売店	店名	フリガナ			
	住所	〒 都道府県 市町村 TEL ()			
販売店印					